

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

7

july  
2019

山形県中小企業家同友会

月刊 同友

# やまがた



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2019年度スローガン

## 備えよう、次のステージへ

～ポスト2020年～

## 第33回山形支部総会

# 自社の経営課題を明日の活力に！

5月23日、山形国際ホテルを会場として第33回山形支部総会が開催され、支部会員を中心に61名が参加しました。

第1部の総会では、「自社の経営課題を明日の活力に！～仲間と悩み励まし合い、時に恥をかき合い、気づき学び合うそれが同友会山形支部～」をスローガンに、2019年度活動方針が決まりました。

活動の先導役として、支部長には伊藤誠氏が選任、副支部長には服部正氏が再任、飯野純一氏、高橋明氏が選任されました。

第2部の記念講演ではさくらんぼ支部会員でもある山形県立村山産業高等学校 教諭 東海林啓氏より「生徒よし、企業よし、世間よし～令和時代、地元中小企業の役割～」と題してご講演頂きました。

東海林氏は新規学卒者の現状として、3年以内の離職率は大学が31.8%、高校が39.3%であり、高卒者の離職率が高くなっていると説明。高卒の場合、7月に求人情報が公開され、9月には入社試験が始まる。学生側としては、求人情報公開から入社試験までの2か月間で自分に合った会社を選ぶのは非常に難しく、入社後の高い離職率につながっていると指摘します。求人情報公開の前段階から、学生が

『この企業は自分に合っているのか?』と判断するセルフスクリーニングが出来る情報提供が必要になってきている。東海林氏自身も「学生と企業を結び情報サイトの設立やフリーペーパーを発行する会社と連携して学生が求める情報発信に取り組んでいきたい」と語りました。

また、東海林氏は「学校はテストの点数を取らせるためでなく、社会の中で生きていけるようにする実学を学ぶためにあると考えている」と話し、その上で「地元中小企業の役割として、学校での学びを実学にしてあげる手助け、そしてセルフスクリーニング出来るような企業情報の提供をお願いしたい」と呼びかけました。その後、「自社の社会的役割は何ですか?また社員さんは理解していますか?」のテーマでグループ討論を行い、今後の具体的実践について考え合いました。



## 第23回置賜支部総会

# 気づき、実践、そして令和時代を生き抜こう



5月24日、ホテルモントビュー米沢を会場として第23回置賜支部総会が開催され、総勢32名が参加しました。

総会では、「気づき、実践、そして令和時代を生き抜こう」をスローガンとした2019年度活動方針が

決まりました。役員には支部長として八代昌弘氏が再任され、副支部長には志田清志氏、高橋一弘氏が再任、石川晴久氏が選任されました。

記念講演は、(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山 享氏より「経営者の先見性養成～日本経済新聞で分かる先見性」と題してご講演いただきました。

奥山氏ははじめに日本経済新聞の経営への活かし方について、紙面には経営者にとって重要な経営情報や経済情報が掲載されており、しっかり把握し今後の経営を考えて

いく必要があると説明。また、世界同時不況の時代に向かっており、消費は先行き戻すぼみになる可能性が非常に高く、商品開発をQPS(クオリティ、プライス、スキル)の基準で行っていく必要があると提起しました。「売れているということは消費者から求められている商品・サービスを扱っている。儲かっているところを観察し続ける、観察して何らかのアクションに結び付けられる、QPSにつながるヒントを吸収することが大事」と語りました。また、各業界の今後について、「各業界を管轄している省庁で年度末に来年度の重点方針を示しており、国がどの分野に力を入れていくのか、それによって自社の商売の進むべき方向が分かる。ここに重点を絞るべき」と説明しました。

最後に、奥山氏は「お客様に喜ばれる商品・サービスを提供するためには観察力を磨く。そのためには、日経新聞という一つの国の先見性を読んで情報収集して経営が良くなるために活用してくれればと思います」と呼びかけ、盛会のうちに終了しました。

## 第25回さくらんぼ支部総会

# あなたの経営の悩みは私の悩み、共に学びましょう！

5月27日、さくらんぼタクトルセンターを会場として第25回さくらんぼ支部総会が開催され、36名が参加しました。多数のゲストも参加し、多くの参加動員となりました。

第1部の総会では、活動を先導する役員として、支部長には武内賢二氏が再任され、副支部長には菊地仁士氏、齋藤和彦氏が再任、斉加義三氏が選任されました。また、「あなたの経営の悩みは私の悩み、共に学びましょう！」のスローガンを発表し2019年度活動方針が決まりました。

第2部の記念講演では、天童温泉で旅館業を営む(株)滝の湯ホテル 代表取締役社長 山口敦史氏より「競争から共創へ 宿敵同士だからこそ見える課題と進むべき道」と題して講演をいただきました。

山口氏は「一般的に旅館は仲が悪い。他の旅館から比べられるため常に競い合う必要がある。少し前の天童温泉もライバル＝競争＝敵の状態だった。」と説明。ここに問題点を感じ、自分の旅館だけでなく、天童温泉にいかにお客様が来てもらえるかを温泉組合みんなでお話し合い、競争から「共創」の関係へ変わっていきます。

天童温泉の旅館の方々に台湾へ出向きセールスを行う

など連携を進めていきます。また、若手経営者が共同で(株)DMC天童温泉という会社を作り地域の魅力発信に取り組みます。朝摘みさくらんぼ狩りツアーや銀山温泉ナイトツアー、温泉パスポート発行などの事業を行い、もともとある地域の魅力を掘り起こして付加価値をつけ、新たな観光の素材にして天童温泉に来てもらう目的を作り、自分たちの商売にもつなげていきました。

山口氏は「この取り組みは共に創り上げる関係性がないとできない。地域の魅力を一番知る旅館業者が天童の魅力を深掘りして天童温泉に来てもらう目的を作る。そうしないと旅館にも来ない。交流人口が増えると消費が増える。そうすると地域の商店も活気づく。旅館の役割とは地域の活性化の先導役になること」と語り、盛会のうちに記念講演が終了しました。



## 第15回庄内支部総会

# 社長の学校で、みんなで学ぼう！



5月28日、グランドエル・サンを会場として第15回庄内支部総会が開催され、来賓を含め38名が参加しました。

第1部の総会では、「社長の学校で、みんなで学ぼう！」をスローガンに掲げた2019年度活動方針が承認され、活動の先頭に立つ役員として、支部長に板垣一紀氏、副支部長に成澤克志氏が再任されました。

第2部の記念講演では「若者の心をつかむ企業とは～採用から定着までのポイント～」と題して、山形大学学術研究院 准教授 松坂 暢浩氏にご講演いただきました。

松坂氏は、統計等を基に最近の大学生について、地元志向の学生は減少傾向にありながらも一定数おり、彼らの傾向として「能力は十分だが働くことや環境変化、将来展望への意欲が弱いこと」「親の意見を重視すること」を挙げ、「能力と違って意欲は大学や企業の働きかけで向上する。『採用して育てる』

という考えが大事」「内定者をフォローして、自分が働く会社の魅力や会社を選んだ理由を語れるようにすることが必要」と語りました。そして学内調査結果から決め手となる要件について「明確なキャリアビジョン、モデルを示す」「職場の雰囲気、環境、福利厚生の情報発信」が重要と分析しました。

そして、事例として山形大学と山形同友会が連携して取り組んだ「低学年インターンシップ」の取り組みを紹介。山形大学の1年生が、同友会企業で3日間の実習を行うことを軸に据えたこの事業では、学生はキャリア意識が向上すると同時に、参加学生の9割が中小企業へのイメージがポジティブ化。企業側も、社員が実習計画をつくり自分の仕事を学生に伝えることで社員教育の場になるとともに、新卒を受け入れる風土づくりの機会になっています。

最後に松坂氏は「地域で考え、地域で人を育てることが重要だと思う。『共育』の考えのもと色々取り組んでいきたい。それが離職防止にもつながっていく」と締めくくりました。途中で質疑応答も交えながら、深く学びあう記念講演となりました。

# 認めあい、高めあい、生かしあう 関係づくりの実践を！



6月13～14日、第22回女性経営者全国交流会が広島市で開かれ、山形同友会から5名が参加しました。「認めあい、高めあい、生かしあう関係づくりの実践を！」のローガンのもと、7つの分科会と記念講演で学び合いました。参加者からの声が届きましたので紹介いたします。

(株) Hair with Water 代表取締役 赤塚治美

第22回女全交は、まるで「革命の前夜」のように感じました。女性部会長を拝命して、毎年参加させて頂く中で、同友会女性部を通して短い期間ながらも女性の活躍推進の歴史に立ち会っているような感覚を覚えています。

今回の広島では、開会前に山形メンバーで「原爆ドーム」「広島平和記念資料館」を訪れました。解説ガイドを通してじっくり見学することで、改めてHIROSHIMAについて知ることができ、今なお、つい120日前にも世界で核実験が行われていることも知りました。同友会では、人を生かす経営を学び合っていますが「平和でなければ実現できない」と耳にします。まさに今回、広島が歩んできた道を思い、サブタイトル「わたしたちはここで生きていく」も、より深みを増して心に響きました。村井実行委員長をはじめとした広島女性部の想いと経営の実践を随所に感じる女全交。1年以上前から全国で配っていたカードや女全交の歴代報告から抽出した「珠玉の言葉集カレンダー」は、人を生かす経営が身についた「愛の塊」に感じました。だれも一人としない仲間づくり、何のために同友会で集まるかを追及し行動に表す

意味を深く受け取りました。

参加分科会では、神戸女性部の再始動のストーリーで得ていく「人間尊重」「何のためにの明確化」の報告で、相互理解できるようになることで変わる自社・同友会・自分の人生を学びました。二日目最後の、久賀中同協女性部連絡会代表のあいさつでは、「女性経営者の存在アピール」で始まった同友会女性経営者の歴史も、やがて実践活動を認められ、時代が経営に女性の感性（生活者の視点）を必要としはじめ、この度の女全交で、真の男女共同参画＝女全交がなくなる事を予感した、と述べられました。まさにこれが「革命前夜」！！しかし「経営に男性も女性もない」というならば、地域で、同友会で、女性参加率を30%越えを目指そう、女性自身が声を上げよう、能力を発揮しよう、貢献しよう、それには各県でどんどん例会報告し、役員になり経験を積もう！と提言。山形女性部でも、これを伝え続け、女性リーダーとして育ち自社で、同友会で、地域で役立ち活躍できる自律した女性になろうと、思いを新たにし帰途につきました。美しい広島のを、また何度でも訪れたいとなった今回の女全交でした。

## 女性部会で出逢える3つの宝

- ・悩みが「やる気」に変わる不思議があります  
その笑顔からは想像も出来ない経営体験を直接聞くことができ、それを具体的に自社、自分自身に活かす事ができます。自分だけじゃないと「勇気」「やる気」「覚悟」がうまれます。
- ・素敵なおせっかいという「知恵の宝庫」です  
経営だけではなく、自身の事・家族の事々々悩みを解決する知恵の宝庫です。それは、自分だけでは到底たどり着けない「発想」「解決策」であることがほとんどです。
- ・勤に頼らない「科学的な経営」が身に付きます  
科学的経営を念頭におき、女性の感性と柔軟な思考を活かせる勉強会を実施しています。  
実践→検証→学び続けることで視野が広がります。

Only is not Lonely.

経営者は孤独だけれども  
ひとりぼっちではない

加納ひろみ氏



広島県中小企業家同友会  
女性部会

私たち女性部会は

自社の経営を良くしたい！  
経営環境を良くしたい！

と真摯に想う経営者・経営幹部・経営者婦人といった  
同じ立場の女性達が集い

自分を磨き・成長したい

と女性ならではの感性を活かしながら  
共に喜び成長していく場です

分科会では、広島県尾道市にUターンし、12年前に「NPO法人 尾道空き家再生プロジェクト」を立ち上げ、子育てしながら地域づくりに取り組む豊田さんのお話を伺いました。記念講演では、「帆布を使って尾道を元気にしよう」と、同友会女性部有志が2万円ずつ出資し始めた「NPO法人 工房おのみち帆布」の20年の物語を伺い、その後のオプションツアーでは、実際に尾道市に足を運び現地を見てきました。

尾道市は、その昔は海運で栄えとても豊かな町でしたが、坂が多く生活に不便で、空洞化や高齢化が進み、空き家が増えていきました。それが、その後の様々な取り組みの末、現在は人口13万人に対し年間680万人の観光客が訪れる町になっています。

「NPO法人尾道空き家再生プロジェクト」も「NPO法人 工房おのみち帆布」も、「無」から「有」を創る物語でした。年月を経て、多くの人の人生を巻き込みながら、収益を生み出す事業に育っています。

ももとは、「空き家」を「負の遺産」ではなく、「生かせば資産」

## (株)菓子工房 COCO イズミヤ 代表取締役 庄司 薫

初めて広島を訪れました。平和記念資料館、原爆ドームを見学してからの分科会、全体会での学びでした。

初めて目のあたりにした原爆の破壊力と人間の愚かさ、そして悲しみ、いろいろなおもいを胸に参加した分科会は「わたしたちはここで生きていく」という分科会でした。

尾道で空き家再生、ケーキ屋、珈琲屋の3人の話を聞き地域は自分たちで作って行く事や地域の未来と一緒に考えていく大切さを学びました。町を上げての再生プロジェクトは次の日の基調講演にも続きました。工房おのみち帆布の20年の活動の話をお聞きし、斜陽産業だった帆布に可能性を発見し尾道の産業として再生させたお話でした。

女性たった5人で2万円ずつ出資して作った帆布の会社が今では社員10人年商9200万円まで成長しました。オプションツアーにも参加して尾道を訪れ、おのみち帆布さんを見学しま

ととらえたこと、「帆布」を「斜陽産業」ではなく、「魅力的な地場産業」だととらえたことが始まりです。どちらも、発想の根底にあるものは、「我欲」ではなく「地域を元気にしたい」という「社会貢献」の気持ちでした。「ここで自分は生きて幸せになる」と決めて、身の丈から始める。どこかにいるリーダーを望むのではなく、地域の課題を自分たちの課題としてとらえ、自分事として行動する。目の前の現実を受け止めて、果敢に挑戦する。そのうちに、協力者が見つかる。やがて一緒に夢を重ねる仲間ができ、場を用意することで、活躍する人が出てくる。行政が動く。人とつながると、人が人を呼び込み、地域をよくしたい企業がつながって、活動の幅が広がっていくのは、どちらも共通していました。

「なぜこの活動が大切なのかを常に伝え続け、仲間とプロセスを共有して、夢を実現する過程も楽しむ」姿勢に学びたいと思いましたし、人が、企業が、地域が、つながることによる無限の可能性を、肌で感じた広島での2日間になりました。

したが、店内は帆布でできた小物やバックなど女性が欲しくなる素敵な商品ばかりで、空き店舗を利用した店と工房がとても素敵でした。町の産業や町並みまでも人々の熱意や工夫で蘇り、人口減少もシャッター街も諦めては未来が見えてこないと実感しました。

更に今回は分科会と懇親会で偶然にも隣の席が広島の前代表理事の川野登美子さんでした。

川野さんは2歳で被爆し平和記念公園に立っている「原爆の子の像」のモデル佐々木貞子さんと同級生です。川野さんは世界中から送られてきた折り鶴を「折り鶴ノート」に再生して、世界中の子どもたちに配布する活動をしています。

今回広島を訪れ、1人の人間としてその地で生きていく覚悟や地域の役割を深く考えさせられました。地域の未来を考える上で、企業がやらなければいけない事を再確認した4日間でした。

## (株)E旅 営業課長 菅野亜梨子

女全交参加のきっかけは今年の新春交流会。懇親会で赤塚部会長・笹林副部会長・庄司委員長から参加のお誘いを受け、代表に確認しに行くと「勉強になるよ。家庭の都合がつかうなら行ってみたら？」と参加が決定しました。

参加した第4分科会は京都亀岡支部副支部長の報告「失敗をバネに成長する従業員との強い絆」。元美容師の女性が電子機器検査会社の社長になり「やるしかない！」と奮起し、パート社員との衝突や失敗も「転んでもタダでは起き上がらない。立ち上がる時は一歩前へ」を合言葉に社員と共に乗り越える。パート社員であっても責任を持ち、自らの存在価値を認識してもらう。女性社員が多い中で、情熱ある本気の対話・覚悟・相談から悩みを把握し、多様な働きに反映する。現在は「いつまでも働ける職場づくり」のため、カレー屋さんプロジェクトを発足。社員が中心になって取り組んでいるそう。多種多様な働き方への対応こそが、女性パート社員が中核社員にな

り、生き活きといつまでも働ける会社を育てたように感じました。

翌日は「NPO法人 工房おのみち帆布」の方の記念講演。低迷していた帆布事業の企業訪問を経て、女性的視点から魅力を見出し、同友会をはじめ地域や学生をも巻き込み、共に歩んだパワフルな実践報告でした。昨今男性・女性と分けるような見方は良くないとされていますが、その中でも「女性だからこそ見えるもの・できること」という感性を会社・世の中に取り入れていくことも、時代が急速に変化していく現代では必要になるのではないかと感じた講演でした。

今回このような貴重な経験ができたのは、女性部の方からのお誘い、社長・会社・社員の全面バックアップがあったからです。自分が置かれている環境に感謝し、できることを一つ一つ積み重ね、熱意を広げることができる幹部社員になっていこうと決意し帰路につきました。

## 第24期経営指針をつくる会開講

# 21世紀に輝き続ける企業をめざして



5月25日に「第24期経営指針をつくる会」が、6名の受講生を迎えて開講しました。第1講の会場となったホテルシンフォニーには、修了生を含め総勢40名が集いました。小川委員長の「自社と自分を振り返り、未来へ向かうよい機会です。励まし合い、学び合いながら会社をよくしていきましょう」という挨拶でスタートしました。

続いて川合代表理事が、「経営指針づくりは同友会らしい経営を学ぶよい機会です。修了生にとっても学ぶ場です。経営者自身が学び磨きをかけなければ、よい会社はできない。共に頑張っていきましょう」と、エールを送りました。



第1講では山形大学大学院理工学研究科 教授 小野浩幸氏が、「同友会らしい経営指針の確立～現状認識を深め、経営理念作成をめざして～」と題して講義しました。

小野氏は同友会の経営指針の体系である「経営理念-10年ビジョン-経営方針-経営計画」を経営学から説明

した上で、経営理念とビジョンの必要性を強調。さらに人を活かす視点から自己管理による目標管理と経営方針の構築にあたっての考え方を提起しました。そして、21世紀に輝き続けることができる企業の条件として、「人を大事にして活かす」「差別化できる強みを獲得する」「世界展開を志向する」の3点をあげました。



第2講では、(株)東北消防設備 代表取締役 松田浩氏が、「『人を活かす経営～中小企業における労使関係の見解～』を私はどう捉えているか」と題して、問題提起しました。

松田氏は、「経営者の役割は『全責任をとること』であり、社員には行動責任があり、経営者には結果責任がある。経営者も社員も平等であり、役割が違うだけで、経営者は周りや他人のせいにはしない、そしてあきらめてはいけない。人をいかすのは経営者の責任である」と自らの学びと実践から述べました。

その上で激動の中、ギリギリの心境の時、創造的な方向に舵を切り、社員のために土台を環境を舞台を創り上げられるかを問いかけ、その創り上げる熱量が労使見解の根幹であり、「私の労使見解の捉え方は一言でいえば覚悟」と語りました。

その後、2回のグループ討論が行われ、「なんのために経営しているのか」「どんな会社になりたいのか」を考え合い、経営理念の作成に入りました。

第24期経営指針をつくる会は11月の発表会に向けて、受講生と修了生がかかわり合いながら経営指針書の完成をめざします。

# 7月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

## 山形支部

### ダークサイドから労使見解を学んで グアムの海で夢を語る

2019.7.23(火) 18:30~21:00

場所: 山形ビッグウイング 研修室  
山形市平久保100 ☎023-635-3100

報告者: (株)大久保硝子店 代表取締役副社長 大久保徳朗氏

硝子を中心とする建築資材の販売を行っている大久保硝子店。報告者の大久保副社長は8年前に会社に戻ったものの、未来を考える会社ではなく、トップダウンで物事が進み、どこにでもあるような中小企業でした。まさに、ダークサイド(ブラック)でした。しかしながら、2015年に同友会に入会し、経営指針を受け、労使見解を学び、「人を生かす経営」「自主・民主・連帯」の精神を学び、社内改革を行います。紆余曲折ありながら、今年の社員旅行で社員さんが自分の夢を語りあう会社へと変革を遂げました。その過程とこれからの夢、課題をご報告いただきます。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

## 寒河江支部

### 語り合おう!ビアパーティー

2019.7.24(水) 19:00~21:00

場所: 王様の焼肉くろめ 寒河江店  
寒河江市若葉町14-11 ☎0237-85-6082

参加費: 5,000円

7月の寒河江支部例会は、毎年恒例のビアパーティーです!王様の焼肉さんと真夏に向けてエネルギーを養い、お酒を酌み交わしながらざっくばらんに交流を深めましょう。

ここだから言えることや聞ける話があるかもしれません、経営のこと、同友会のこと、地域のこと、大いに語り合しましょう。もちろんゲストの方も大歓迎!お誘い合わせの上是非ご参加下さい。

## さくらんぼ支部

### あなたの会社、働き方改革進んでいますか? ~労務管理上のグレーゾーンとその対応~

2019.7.30(火) 18:30~21:00

場所: まなびあテラス 講座室  
東根市中央南1-7-3 ☎0237-53-0223

報告者: 社会保険労務士法人ルート企画 代表社員 菊地仁士氏

2019年4月より働き方改革関連法案が順次施行されております。皆様のもとにも様々な情報、要請が届いているのではないのでしょうか?我々経営者にとって避けて通れない労使の課題ですが、情勢を捉え、正しい情報を得ることこそ、労使共に安心できる職場環境を気づくファーストステップではないのでしょうか?

今回は社会保険労務士の菊地先生より今知っておくべきポイントを交えながらお話しいただき、すぐ経営に活用できるヒントを頂いてきたいと思っております。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

## 置賜支部

### ビアパーティー ~名物「義経焼」を囲んで~

2019.7.19(金) 18:30~21:00

場所: なみかた羊肉店  
米沢市金池2丁目1-30 ☎0238-24-6887

参加費: 4,500円

特別報告者: なみかた羊肉店 行方千代子氏

会員同士がつながりを深め、顔と企業が見える支部をめざし、7月例会は毎年恒例のなみかた羊肉店さんにてビアパーティーを行います。ビアパーティーはお互いを知り合い、交流を深める絶好の機会です。経営者の熱い思いが企業と地域の未来を切り拓く鍵です。明日の経営の種を持ち帰りましょう。

乾杯前には、なみかた羊肉店の行方氏より業界・自社の取り組みについての特別報告もごさいます。ゲスト参加大歓迎です。お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

## 庄内支部

### 同友会で学んだ「新時代のリーダーのあるべき姿」と女性活躍推進の意義 ~今こそ働き方改革と向き合おう!~

2019.7.29(月) 18:30~21:00

場所: 鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♡ふる」  
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者: (株)Hair with Water 代表取締役 赤塚治美氏(山形支部)

実家の美容室が1965年の創業、母から受け継いだ「Hair with Water」。2016年に事業継承と法人化。まだまだ日本、山形は家庭の主体者が女性。ブラック業界といわれた美容業界で、リーダーとして・妻として・母として、奮闘するが様々な困難が訪れる。

同友会の経営指針作成で転機を迎えるが、その後も社員の大量の離職、方針の大方向転換が必要に。自身の経営と同友会の活動、女性部会長としての学びが、両輪となって成長してきました。

自社の経営に悩み奮闘したとき、同友会の運営方式を学び真似して、一歩ずつ進んできた足跡を実践報告。

女性経営者・女性幹部社員はもちろん、男性経営者にこそ聞いて頂きたい内容です。

ゲストの皆様もお誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

## 新庄最上支部

### 異業種に学ぶ!!

2019.7.23(火) 18:30~21:00

場所: わくわく新庄 会議室  
新庄市大手町1番60号 ☎0233-22-4200

報告者: (有)グリーンショップ花恵 代表取締役 田中雅樹氏  
(株)食のカコーポレーション 代表取締役 福原和輝氏  
コウ・アユス(株) 代表取締役 野尻直樹氏

中小企業家同友会は異業種の経営者が集まり、日々勉強し実践しています。それぞれ入会した動機は違いますが、何らかの悩みや課題を持って門を叩いたと思います。

今回は最上地域で事業を営む新庄最上支部メンバーの3名から、現状、課題、展望を率直に報告していただきます。異業種他社の実践から「じゃあうちはどうだろう?」と考え合い、明日から実行できるような学びを持ち帰る機会になればと思います。

ゲストの方も大歓迎!お誘い合わせの上ぜひご参加ください!

# 第2回理事会報告

◆日時:2019年6月10日(月)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:阿部理事  
◆出席者:(敬称略)川合、菅原、後藤、阿部(秀)、石川、板垣、伊藤、大泉、佐藤(淳)、佐藤(栄)、庄司、武内、服部、松岡、與田、佐藤(奈)、事務局 矢作、後藤、芳賀

## ■開会挨拶

川合代表理事が「入会して約20年、同友会活動で学んだことは自社経営だけでなく、他団体の活動にも活用している。理事会の役割は会員のスイッチを入れて、経営の助けになる仲間を増やし、自社の経営を発展させ、地域につなげるのではないかと挨拶しました。

## ■報告事項

- 1)2019中同協中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議(東京)6/4  
菅原代表理事が、衆議院第二議員会館を会場として約150名規模で開催され、憲章の重要性が理解され、中小企業の位置づけが変わってきていること、各自治体での条例制定が進んでいることを確認し、今後の課題について話し合ったことを報告しました。
- 2)中同協第50期第5回幹事会(東京)6/5  
菅原代表理事が、5万達成に向けた中山幹事長の問題提起があり、グループ討論では目標達成に向けて課題が話し合われたことを報告。活性化の事例として愛知同友会で課題ごとの小グループ活動を自主的に行っていることを紹介しました。
- 3)緊急事務局長会議(東京)6/5  
矢作事務局長が、第5回幹事会後に開かれ、現状を出し合い目標達成に向けて討論したことを報告しました。
- 4)さらやか経営者セミナー  
来賓として出席した川合代表理事が、アパホテル社長と小泉純一郎元総理大臣の講演があり、懇親会では自分を含め5名の来賓が登壇して紹介され、一般参加者にも同友会メンバーが多かったことをありがたく感じたと報告しました。
- 5)2019年度5月次決算報告  
矢作事務局長から報告と説明がありました。

■承認事項(入・退会承認) 4名入会 3名退会 6/10現在414名

## ■討議事項

### 議題1:組織目標達成に向けて

菅原代表理事より各支部の増強計画を確認した後に、紹介カードを作成し全会員に紹介を呼びかけることと、現在のリストに掲載している対象者のフォローしていくことが提案され、承認されました。

### 議題2:第35回定時総会のまとめ

與田実行委員長が第35回定時総会への協力のお礼を述べた後、まとめと収支報告の提案を行い、承認されました。

### 議題3:2019役員研修会について

- 1)今後の幹事オリエンテーションについて川合代表理事より報告がありました。

支 部	日 時	会 場	担 当
庄 内 支 部	6月11日(火)18:00	㈱板垣水道	斎藤専務理事
新庄最上支部	7月 8日(月)14:00	ねぎぼうず	後藤副代表理事

- 2)役員研修会について川合代表理事より提案があり、下記のとおり決まりました。

#### ①開催要項

【第1講】●日時:8月27日(火)13:00~17:00

- 会場:TISカンファレンスセンター
- 講義担当:菅原茂秋氏

【第2講】●日時:9月19日(木) 13:00~17:00

- 会場:TISカンファレンスセンター
- 講師:鋤柄修氏

●懇親会:そば処庄司屋御殿七丁目店 6,000円会費

#### ②ねらいと講義内容について

ねらい 同友会の役員としての役割を学び、同友会運動と企業経営を不離一体のものとして、発展できる力を養います。

- 第1講 同友会運動と企業経営は不離一体  
~同友会で何を学び、どう実践してきたか~

## 第2講 同友会の役員の役割

### 議題4:全県での学習会について

菅原代表理事より提案があり下記のとおり決まりました。

#### 1)BCP学習会

- 日時:7月29日(月)14:00~16:00
- 会場:TISカンファレンスルーム
- 講師:MS&ADインターリスク総研㈱に派遣依頼

#### 2)情勢学習会(スモールサンゼミ共催)

- 日時:8月23日(金) 17:30~19:30頃を予定
- 会場:TISカンファレンスルーム予定
- 参加費:5,000円

●講師:山口義行氏 立教大学名誉教授・中小企業サポートネットワーク(スモールサン)主宰

#### 3)技術革新の学習会

「人とロボットの共生社会」をめざす特定非営利活動法人人口ロボットビジネス支援機構(R o b i Z y)のメンバーシップマネージャー 佐々木剛氏よりロボット導入の現状と未来について講演いただく。(開催時期:10月)

### 議題5:全国・ブロック行事の参加取り組みについて

「中同協・第51回定時総会」「2019北海道・東北ブロック支部長・地区会長交流会」「2019年第6回経営労働問題全国交流会」の参加呼びかけと出席者の確認がありました。また、「第2回東北青年経営者フォーラム」の日程が10月12日(土)に変更となることが報告されました。

### 議題6:入会について

大手企業の営業所の入会希望については、「会の趣旨を説明し賛同いただける」場合、入会を承認する方向で進めることとなりました。

## ■その他

- 1)山形大学が応募した「2019年度地方と東京圏の大学生対流促進事業」が内閣府地方創生推進室より採択され、山形同友会が参画経済団体として、今後協力していくことが報告されました。
- 2)6月21日に鋤柄中同協相談役の来県に合わせて「フェニックスの会」を開催することが案内されました。
- 3)6月25日に香川同友会で山形大学のインターンシップの取り組みを学ぶために来県すること、各地同友会での報告依頼について報告がありました。
- 4)今後の予定

第22回女性経営者全国交流会	6月13日(木)~14日(金) 広島
幹部社員研修第1講	6月19日(水)18:00~ TISカンファレンスセンター
第24期経営指針をつくる会第2講	6月22日(土)9:00~TISカンファレンスセンター
青年部連絡会東北ブロック会議	6月24日(月)15:00 福島同友会事務局
中同協・第51回定時総会	7月4日(木)~5日(金)東京
中同協・第1回幹事会	7月5日(金)東京
外国人技能実習生受け入れに関する学習会	7月17日(水)15:00~TISカンファレンスセンター
幹部社員研修第2講	7月17日(水)18:00~ビッグウイング
青年部主催基礎講座開講	7月22日(月)18:00同友会事務局
北海道・東北ブロック支部長・地区長交流会	7月25日(木)~26日(金)福島
北海道・東北ブロック代表者会議	7月26日(金)福島
第24期経営指針をつくる会第3講	7月27日(土)9:00~TISカンファレンスセンター

#### 5) 次回理事会

- 日時:7月10日(水)15:00~17:00
- 会場:同友会事務局

## ■閉会挨拶

後藤副代表理事より「各自で時間を見つけて行事等に参加し学んでいただくとともに、同友会運動にご協力いただきたい」と閉会挨拶がありました。

## 新会員紹介

ささき つよし  
◇ 佐々木 剛氏  
ビジネスソリューション  
パートナーズ(同) 代表社員  
ロボティクスコンサルティング業  
さくらんぼ支部

さいとう すずむ  
◇ 齋藤 晋氏  
S floral art 代表  
花販売  
置賜支部

さいとう  
◇ 齋藤 ともみ氏  
㈱ベーカリー中村屋 取締役  
パンの製造販売業  
置賜支部

こせき としいち  
◇ 小関 敏一氏  
㈱ティスコ運輸 課長  
物流業  
山形支部

### 社名・役職

- (有)上林鶏卵 専務取締役  
⇒(株)上林鶏卵 代表取締役  
上林登一氏(庄内支部)

### 役職変更

- (株)奥田製作所 取締役製造管理部長  
⇒ 代表取締役社長  
奥田孝広氏(置賜支部)

同友やまがた7月号 (2019年7月1日発行/通巻316号)



“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201  
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304  
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp